

年末年始の開館について

令和2年12月29日17時まで開館

30日・31日は休館いたします。

令和3年1月1日・2日 休館

令和3年1月3日10時～15時 特別開館

令和3年1月4日～6日 休館(水曜休館含む)

令和3年1月7日10時より通常開館いたします。

3日の新年特別開館は、新型コロナウイルス感染症の状況により、取り止めとなる場合があります。

アウトサイダーアート展

「アウトサイダーアート」とは、伝統的な美術の教育を受けていない方たちによる芸術のこと。

「アール・ブリュット(生の芸術)」とも呼ばれ、近年ますます注目が高まっています。

流派や流行にとらわれない、純粋な創作意欲から産まれた作品の数々を、ぜひご覧ください。

期間 令和3年1月8日(金)～25日(月)

会場 絵本の館「ホールB」(入場無料)



西原の里作品展

展示 令和3年1月29日(金)～2月7日(日)

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、販売会は実施しません。

新刊えほんのごあんない

『てあらいできるかな』

きむらゆういち さく(偕成社)

外から帰ったら、
まずは手洗い!

めくるしかけで正しい手の
洗い方がわかる!大切な生
活習慣を楽しく身につける
ことができる絵本。



新刊のごあんない

【絵本】

『氷上カーニバル』 あべ弘士 作(のら書店)

『にじいろのせかい』 刀根里衣 著(NHK出版)

『ノラネコぐんだん ケーキをたべる』
工藤ノリコ 著(白泉社)

『かべのあっちとこっち』
ジョン・エイジ 作、なかにしちかこ 訳(潮出版社)

【児童書】

『おばけのアッチとコロッケとうさん』
角野栄子 作家、佐々木洋子 画家(ポプラ社)

『偉人もみんな悩んでいた』
こざきゆう、真山知幸 文(柘出版社)

【一般書】

『何のために本を読むのか』 齋藤 孝 著(青春出版社)

『その言い方は「失礼」です!』
吉原珠央 著(幻冬舎)

『半沢直樹 アルルカンと道化師』
池井戸潤 著(講談社)

『始まりの木』 夏川草介 著(小学館)

『リュウジ式 悪魔のレシピ』 リュウジ 著(ライツ社)